

2021年3月期 第1四半期決算説明資料

2020年8月12日

マザーズ：6579



Agenda

1. エグゼクティブ・サマリー
2. 業績ハイライト
3. 新規取り組み
4. 会社概要



エグゼクティブ・サマリー

2021年3月期 業績予想 上方修正

(単位：百万円)

	予算修正前 / 実績			予算上方修正後	
	2021年3月期 第1四半期業績予想	2021年3月期 第1四半期実績	業績予想 達成率	2021年3月期 修正後業績予想	修正後業績予想 達成率
売上	794	1,184	149.1%	3,879~4,085	30.5%~29.0%
売上総利益	165	237	143.4%	758~818	31.4%~29.1%
営業利益	11	106	935.6%	149~208	71.1%~51.0%
経常利益	10	101	955.7%	141~200	71.4%~50.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 / 当期純利益	5	68	1,150.5%	91~131	74.9%~52.1%

LOGLY liftの拡大期として業績予想を開示したが、第1四半期でLOGLY liftが当初の想定よりも早い段階で拡大期に入ったため、**業績予想を大幅上方修正**

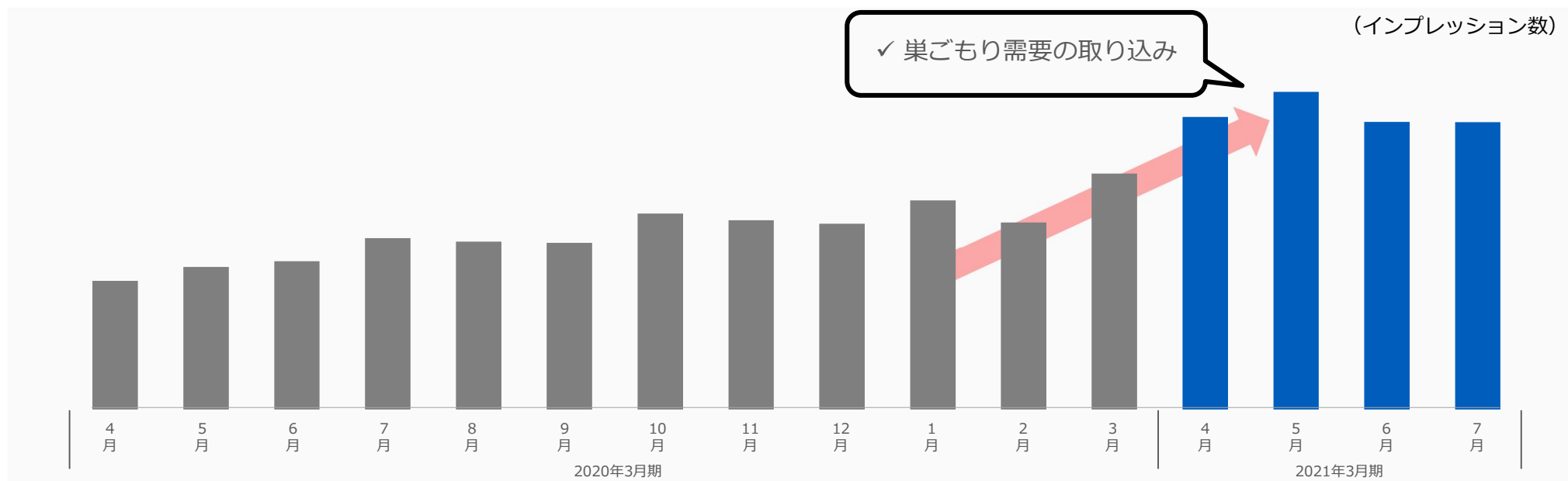
(単位：百万円)	2020年3月期 実績	2021年3月期 上方修正予想	前期比
売上	2,708	3,879 ~ 4,085	143.3% ~ 150.9%
売上総利益	554	758 ~ 818	136.8% ~ 147.6%
営業利益	63	149 ~ 208	234.8% ~ 327.7%
経常利益	59	141 ~ 200	237.1% ~ 335.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	40	91 ~ 131	223.8% ~ 322.1%

■ 事業の運営状況

- 4月10日に新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、原則在宅勤務体制へ移行
- 4月24日に在宅勤務期間中の社員サポートとして在宅勤務手当の支給を決定
- 6月からウェビナーを活用した新型コロナウイルス環境下の営業活動のニューノーマル（新常態）を積極展開
- 6月26日に新型コロナウイルスの長期化を見据えて、在宅勤務ファーストを宣言

■ 新型コロナウイルスの業績に与える影響

- 3月度～7月度にかけてのインプレッション数は継続的に右肩上がり ※詳細はP10参照
- 新型コロナウイルス感染症拡大による**巣ごもり需要を取り込めている状況**
- 第2四半期以降は、巣ごもり需要の取り込みを継続していけるかどうかを合理的に算出した結果、新型コロナウイルスが社会に与える影響はまだ不確実な部分が多いため、業績予想は上限と下限を設定



重要トピック

■ 第1四半期の業績好調のため通期業績予想を上方修正

- ✓ 当初業績予想を大幅に上回る結果となる
- ✓ 新型コロナウイルスによる巣ごもり需要を取り込みインプレッション数が大幅に増加
- ✓ **売上高** 1,184百万円（1Q前年同期比 **189.9%**）
- ✓ **売上総利益** 237百万円（1Q前年同期比 **190.5%**）
- ✓ **経常利益** 101百万円（1Q前年同期比 **1,537.1%**）

新たな取組み

■ 新サービスをリリース予定

- ✓ 社長メッセージ「今後の方向性を示すテックカンパニーとしての成長戦略」 ※詳細はP18参照
- ✓ クロストレックス株式会社の連結子会社化
" BtoB向けリード獲得サービス " リリース予定 ※詳細はP19参照
- ✓ 新規事業の考え方 ※詳細はP20参照

2020年3月期第3四半期より連結財務諸表を公表しております。本資料に記載の予想比や実績との前年同月期比較は、単体財務諸表との比較です。

連結財務諸表と単体財務諸表のPL差はほとんど生じておりませんので、比較情報として、投資判断の資料として一定の合理性がある情報であると判断しております。



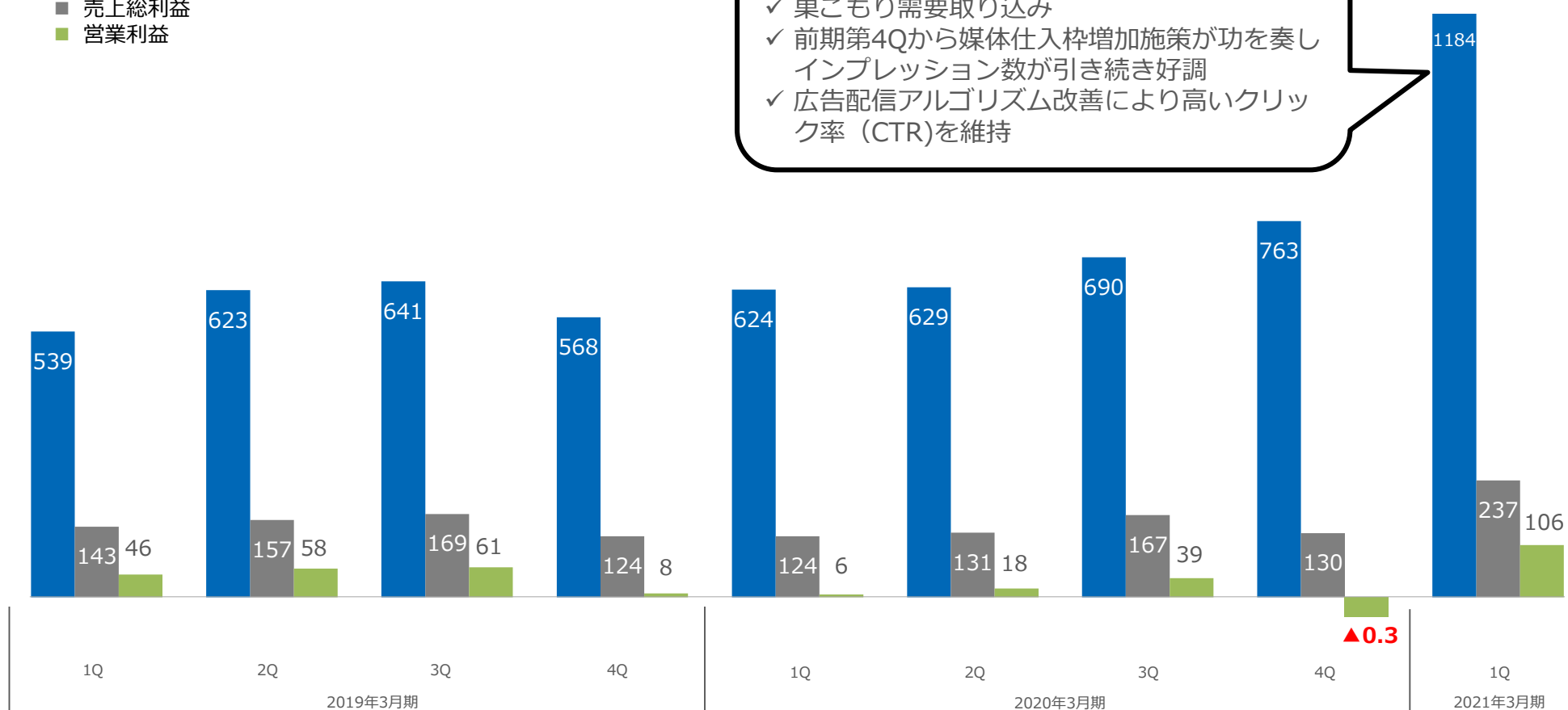
業績ハイライト

(単位：百万円)

- 売上高
- 売上総利益
- 営業利益

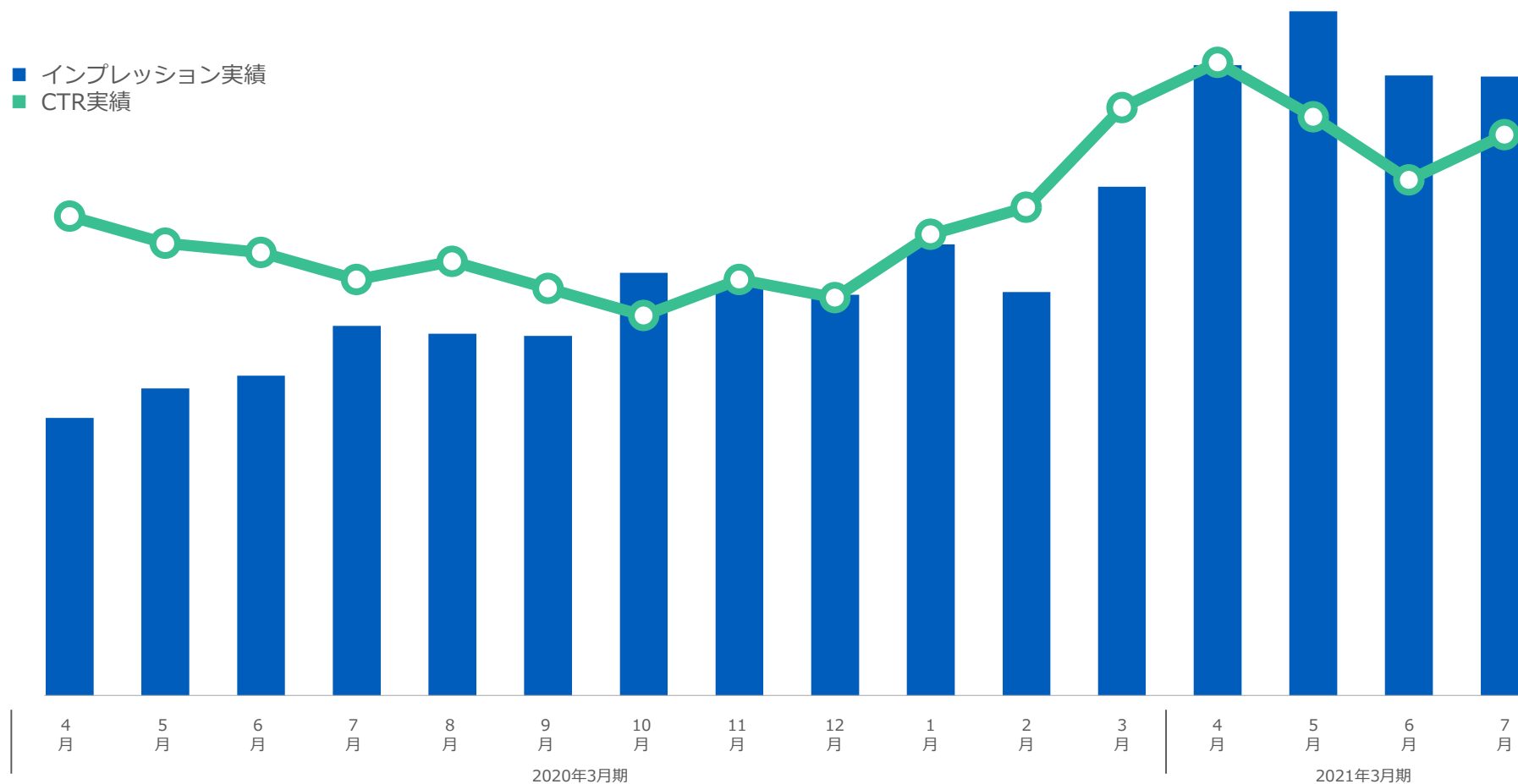
上昇の主な理由

- ✓ 巣ごもり需要取り込み
- ✓ 前期第4Qから媒体仕入枠増加施策が功を奏しインプレッション数が引き続き好調
- ✓ 広告配信アルゴリズム改善により高いクリック率 (CTR)を維持



インプレッション数×クリック率（CTR）

第1四半期においてインプレッション数とクリック率(CTR)が順調に増加。クリック率に関しては、巣ごもり需要によりインプレッション数が急増したため、一時的にクリック率が減少したが、広告配信アルゴリズムの改善により、2021年3月期に入ってから高い水準を維持している。このため、売上高の大幅な増加に貢献した。



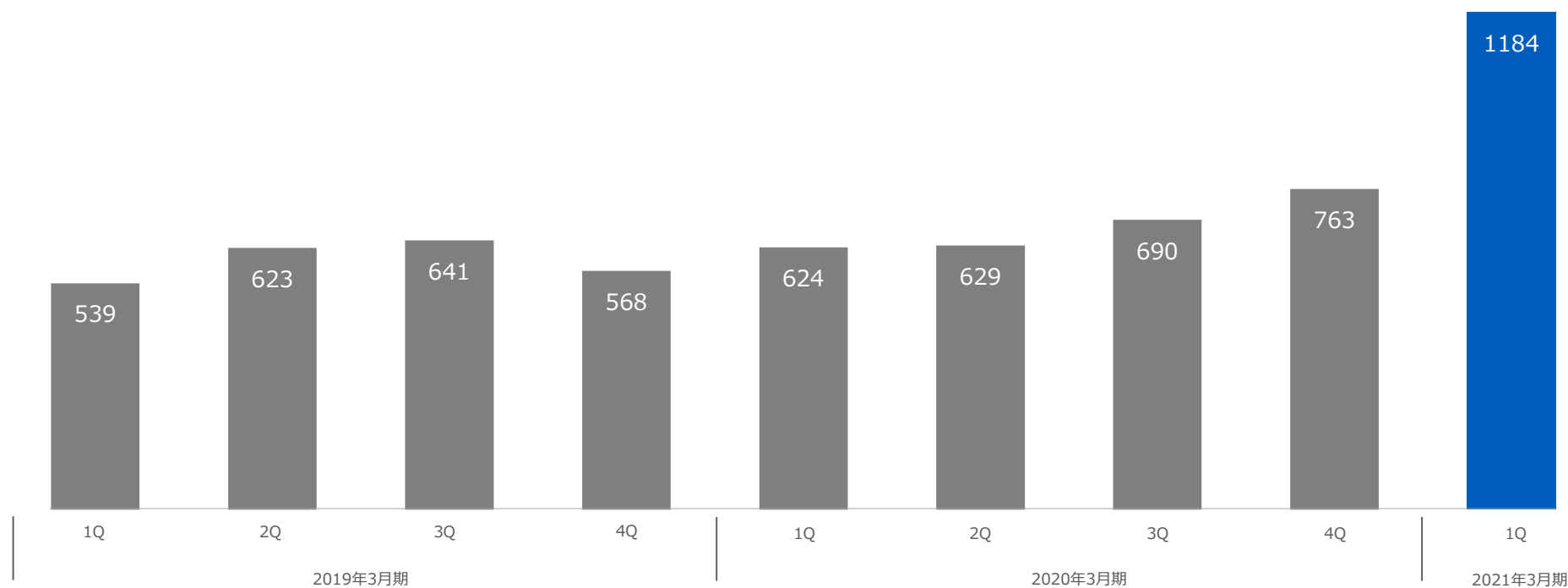
第1四半期連結会計期間比

Y on Y **89.9%増**

巣ごもり需要を取り込みながら、クリック率(CTR)が高水準で推移したため、売上高が大幅に増加。

四半期会計期間で**過去最高売上高**を達成。

(単位：百万円)

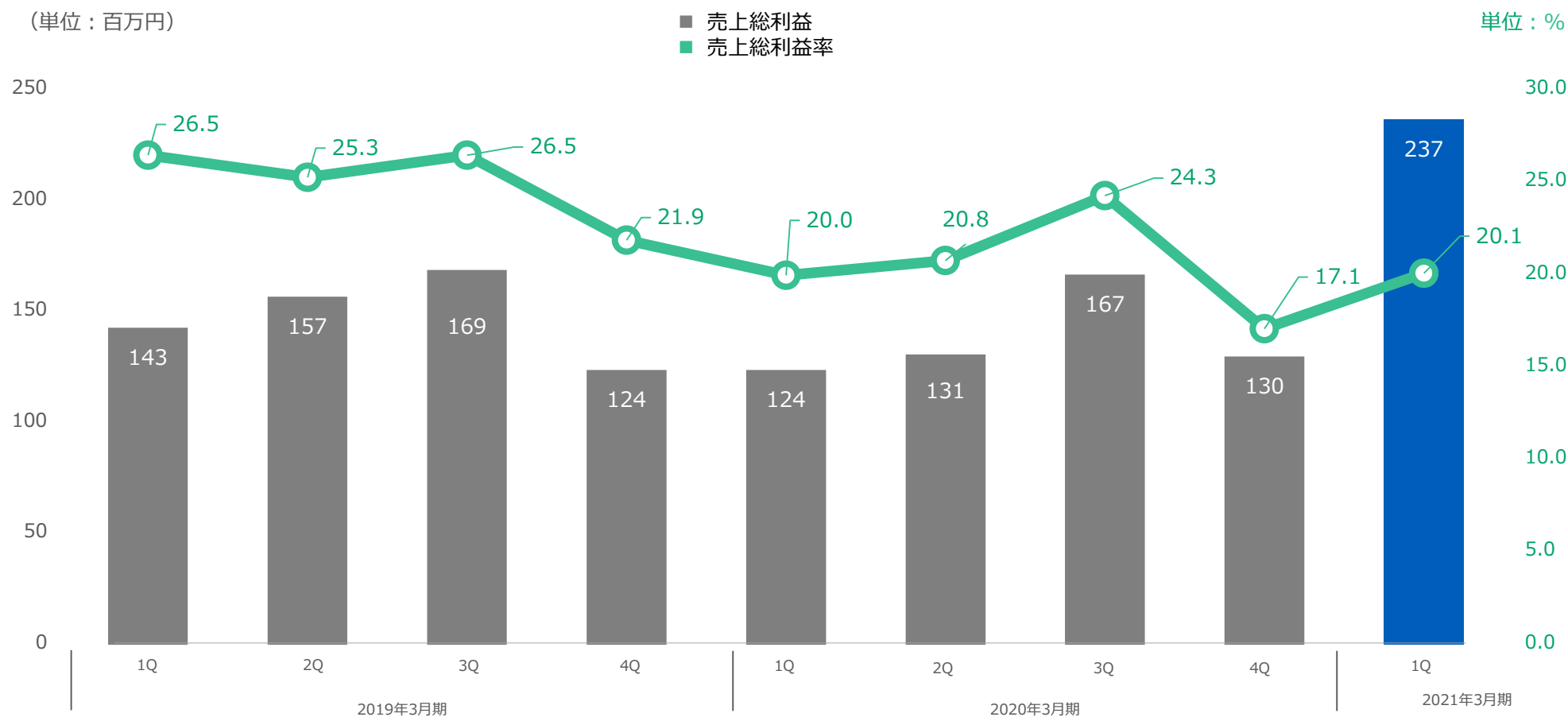


第1四半期連結会計期間比

Y on Y **90.5%増**

売上総利益率が**20.1%**と前期第4四半期より上昇。

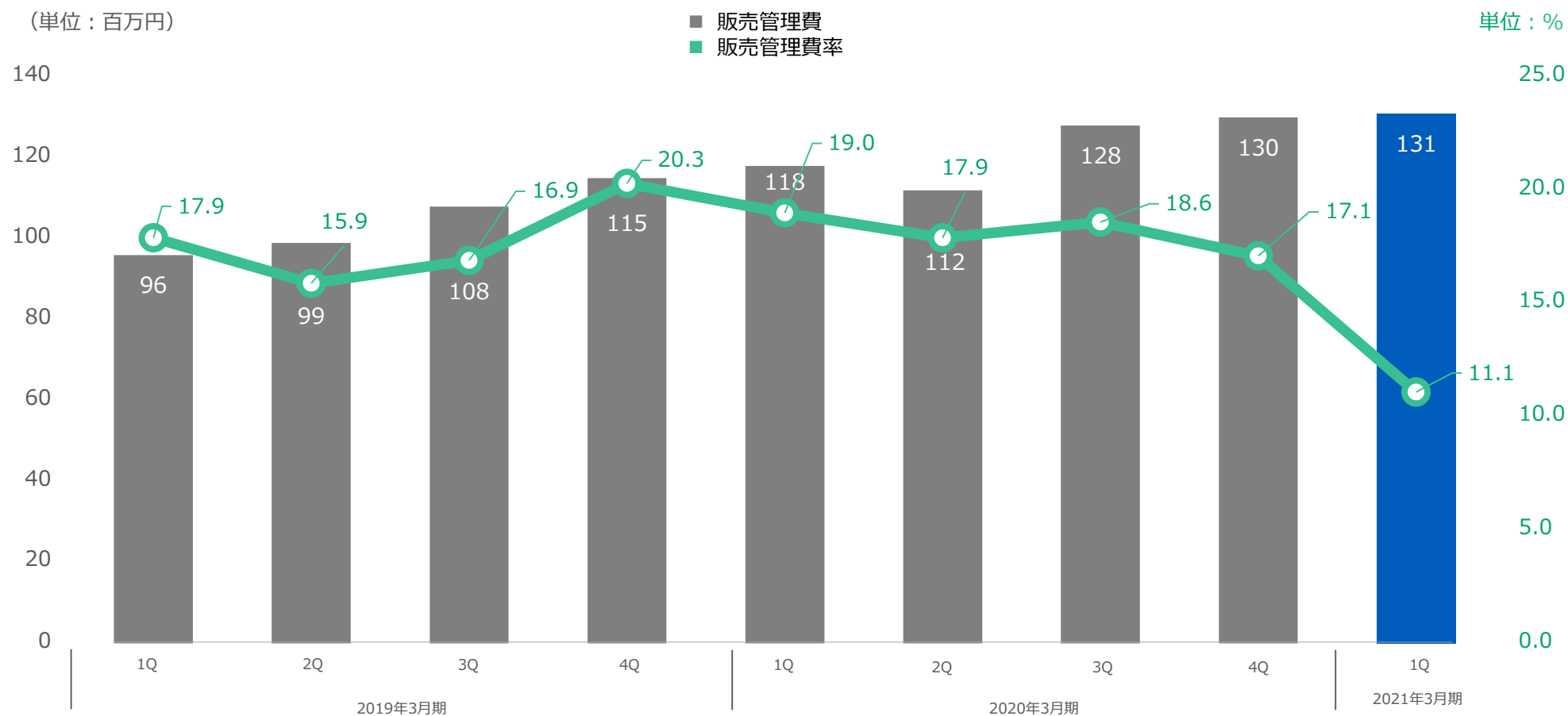
クリック率（CTR）が高い水準にあるため売上総利益額は増加したが、引き続き積極的に広告枠を獲得していくため、売上総利益率は前期並に推移する見込みである。



第1四半期連結会計期間比

Y on Y **11.2%増**

固定費の増加要因は前期までに一服した上で、高い売上高が要因となり販売管理費率は11.1%と固定費効率が大幅に向上した。第3四半期以降に新規事業人員としてエンジニア人材の予算を確保しているため、通期の販売管理費率は16%～15%に着地すると予測。



第1四半期連結会計期間比

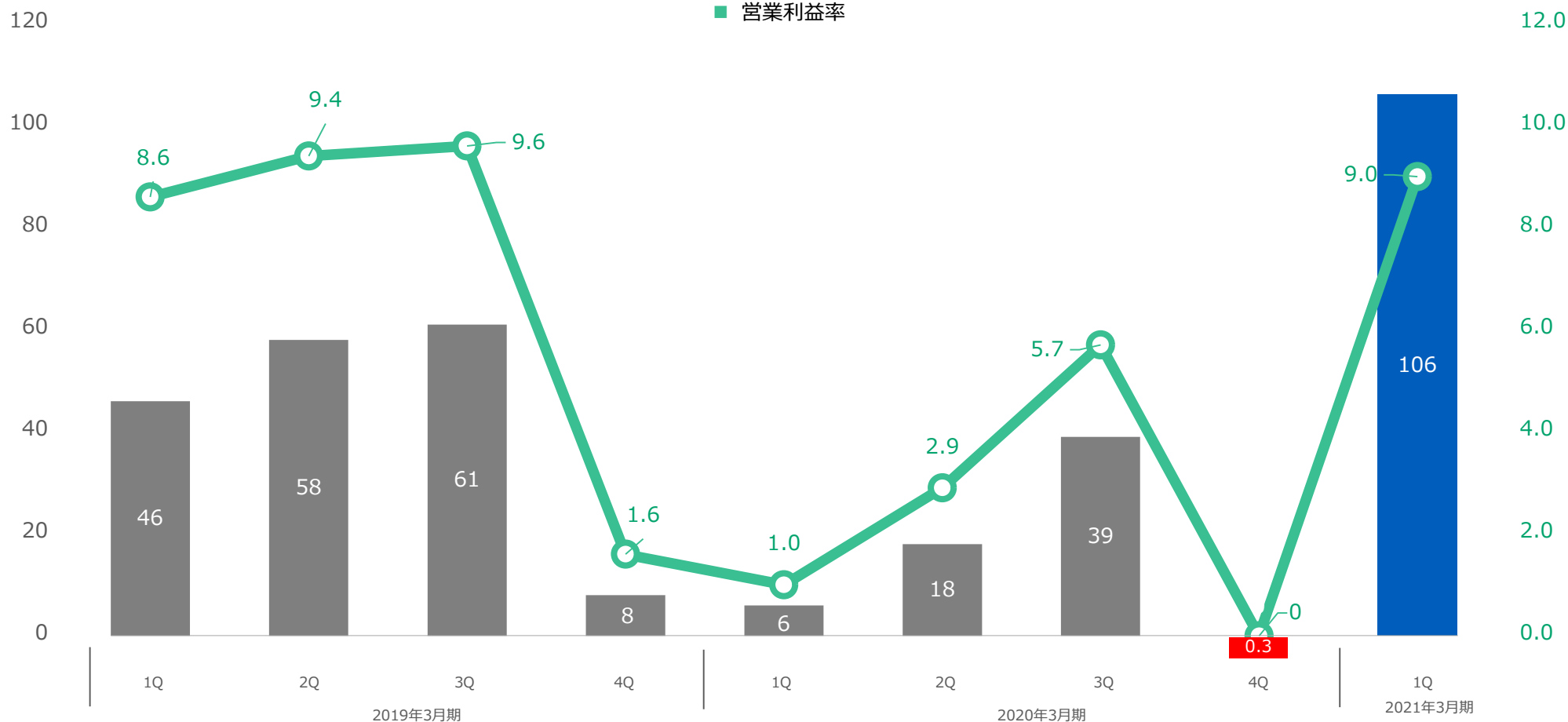
Y on Y **1,566.8%増**

第1四半期で巣ごもり需要の取り込みと、インプレッション数の増加、高いクリック率（CTR）の維持で、四半期会計期間 **過去最高益** を達成

(単位：百万円)

■ 営業利益
■ 営業利益率

単位：%



(単位：百万円)	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	前年同期比
売上高	624	1,184	190%
売上総利益	124	237	191%
販売管理費	118	131	111%
営業利益	6	106	1,667%
経常利益	6	101	1,537%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3	68	1,762%

(単位：百万円)	2020年3月期 期末	2021年3月期 第1四半期	前期末比
現預金	1,529	1,894	124%
流動資産	1,859	2,219	119%
固定資産	451	437	97%
総資産	2,311	2,657	115%
流動負債	764	1,052	138%
固定負債	363	337	93%
資本金	379	380	100%
純資産	1,183	1,267	107%



新規取り組み

株主のみなさまにおかれましては、当社の東証マザーズ上場以来、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、市場環境にも大きな影響がもたらされました。当社としてもこれまでの働き方を大きく見直し、在宅環境を中心とした新たな働き方に取り組んでおります。このような状況下において、当社がこれから大きく成長していくためには何が必要なのかを改めて考え、経営理念としての「ミッション」を実現していくことこそが必要不可欠であるとの結論に至りました。

当社のミッションは「イノベーションで世界中の人々にワクワクを」を掲げており、テクノロジーを用いてさまざまな業界にイノベーションを起こし、世界中の人々に感動を与えていくことにあります。テクノロジーは当社にとって創業以来のこだわりであり、テクノロジーこそがパラダイムを大きく変えていくものと信じています。また、当社社員においても、ミッションに共感するだけでなく、テックカンパニーの一員としてさまざまな課題にチャレンジしていく精神が備わっております。

当社はこれまで、広告事業を1つの軸として集中してまいりましたが、上記のような経営理念を実現していく上で、必要となる財務基盤や人的リソースが整いつつあり、新たなチャレンジをするタイミングになったと感じています。既存事業については引き続き強化し、ミッションの実現に向けて、新たな事業の立ち上げに取り組んでいくことをここに表明いたします。そして、第二、第三の事業柱になるよう注力をしてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

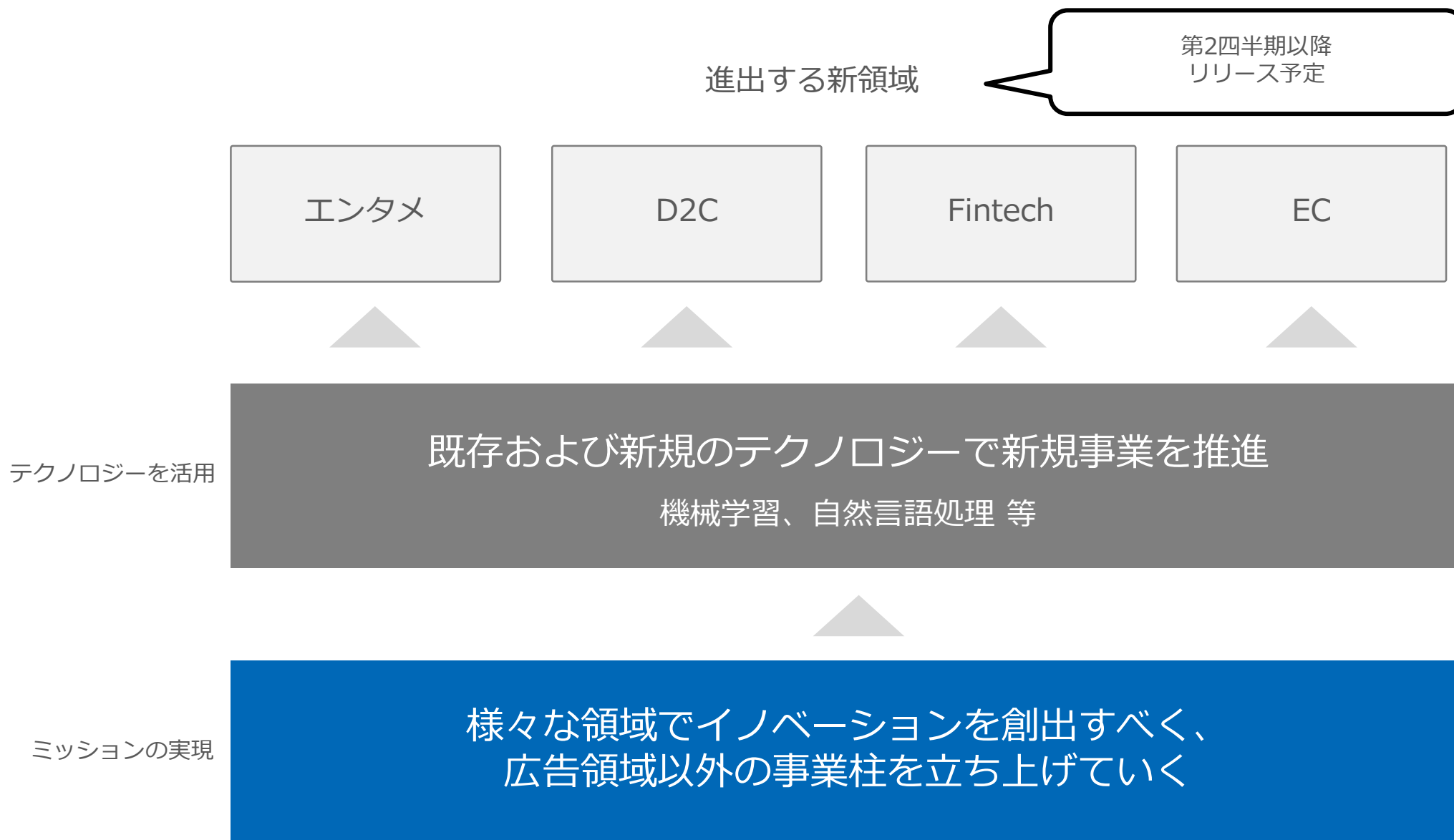


代表取締役社長

吉永 浩和

クロストレックス株式会社の新サービスリリースに伴い、連結子会社化
LOGLY liftとの掛け算でさらに既存事業を拡大していく新サービスを開発中







会社概要



データ分析を得意とするテクノロジー企業

動きの激しい広告業界において、必要な機能を高い水準で自社開発しています。市場から求められている機能をフレキシブルに開発し、最大の成果を追求します。

提供サービス

LOGLY lift
BOOST YOUR CONTENT

Loyal farm
Bring up your Audience

juicer
ユーザー分析DMP

社名	ログリー株式会社	
会社HP	https://corp.logly.co.jp/	
所在地	東京都渋谷区道玄坂一丁目16番3号 渋谷センタープレイス 2F	
設立	2006年（平成18年）5月	
経営陣	代表取締役社長	吉永 浩和
	取締役CFO	岸本 雅久
	取締役COO	池永 彰文
	取締役 監査等委員	橋本 訓幸（川崎ひかり法律事務所 弁護士）
	取締役 監査等委員	笹部 秀樹（笹部秀樹公認会計士事務所）
	取締役 監査等委員	藤岡 大祐（株式会社PKSHA Technology常勤監査役）
	顧問弁護士	森 一生（代官山総合法律事務所）
資本金	3億7,976万円（2020年3月現在）	
従業員数	54人（2020年6月現在）	
事業内容	メディアテクノロジー事業 / アドテクノロジー事業 / データマーケティング事業	
子会社	クロストレックス株式会社 ログリー・インベストメント株式会社	
所属団体	一般社団法人 日本インタラクティブ広告協会（JIAA） 公益社団法人 日本広告審査機構（JARO）	

業績予測の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



LOGLY